

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

通 A.H.O. 20-2

大臣
次官

電信課長

第四一七號

幣原外務大臣

昭和6 一一〇八三 略

上海 十八日前發
本省 八月十八日後着

村井總領事

亞、通

名ハ中央黨部ニ對シ各地民衆團體ヲシテ一層排日排貨運動ヲ勵行ス
ル様各地黨部ニ通令方請願ノ爲十八日赴寧スル筈ナル旨報セリ
支へ轉報セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1855

0003

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

通 A.H.O. 20-2

大臣
次官

電信課長

第六五號

幣原外務大臣

昭和6 一一〇八七 暗

廈門 十八日前發
本省 八月十八日後着

寺嶋領事

亞、通

上海發閣下宛電報第三九九號ニ關シ(反日検査委員ノ國際運輸「ラ
ター」ニ對スル暴行ノ件)
上海新聞到着ノ上ハ記事轉載セラルヘキモ電報トシテハ當地新聞ニ
ハ未タ何等掲載セラレ居ラス
公使ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ
公使、福州へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-7

1854

0002

3/10

頭細亞司

機密第七三一號

昭和六年八月十八日

在中華民國日本公使館

大使館參事官 矢野

外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿



昭和六年八月廿五日授受

(A.I.I.O. 20-2)

反日運動狀況報告ノ件

本件ニ關シテハ屢次報告ノ次第アリタルカ其ノ後ノ模様等左ノ通
一、本月十四日反日會經濟絕交委員會ハ左ノ各項ヲ決議セル由

- (一) 検査員任命ノ件
- (二) 東單牌樓附近(邦人居住者最モ多キ地方)ニ検査所一所ヲ増設ノ件

在中華民國日本公使館

(三) 登記期限完了後尙登記セサル日貨ハ一律沒收スルコト

(四) 日貨輸入禁止通告後輸入セル日貨ニシテ本會ノ許可證ナキモノハ一律沒收ス

(五) 日本人商店ヨリ日貨ヲ購入シタル場合該日貨ハ沒收ス

三、然ルニ一方北平市商會ハ十五日臨時大會ヲ召集シ對日經濟絕交問題ニ付討議スル所アリタルカ席上反日會委員朱宗升等ヨリ(イ)商會内ニ日貨登記所ヲ設クルコト(ロ)商會ヨリ検査員ヲ半數十五名ヲ推薦スルコト(ハ)登記費ヲ抵當トシテ反日會經費ヲ一時立替ラレ度等ノ希望ヲ述ヘタルニ對シ商民中ニハ先年ノ反日會ノ種々不當ナル事實ヲ述ヘ又ハ登記費ノ免除ヲ主張スルモノ等アリテ結局何等結果ヲ得ルニ至ラサリシ模様ナリ

右商會側態度ニ依リテモ看取セラルル如ク一般商民ハ日貨排斥ニハ餘リ氣乗ラサル模様ニテ引續キ公然日貨ハ販賣セラレ居レリ

三、驟者ノ報告ニ依ルニ最近反日會カ斯ク積極的ニ活動スルニ至レルハ當地商會ニ於テ内密市政府當局ノ諒解ヲ得テ日貨取扱商ヲ主体

在中華民國日本公使館

S 1.1.1.0-7 1857 0005

S 1.1.1.0-7 1856 0004

REEL No. A-0060

アジア歴史資料センター

トスル北平市商人對日經濟絕交委員會ヲ組織シ自動的ニ日貨排斥ヲ行ハムトスル計畫ヲ進メツツアル爲反日會ハ右成立ヲ不利トシ先手ヲ打チタルモノナル由

四 尙本件ニ關シ本月十六日ノ北平晨報及同十七日ノ華北日報ハ大要左ノ如キ論評ヲ掲ケタリ

(一) 對日經濟絕交ハ如何ニセハ有效ナルヘキカ(北平晨報)

上海市商會カ反日會ヲ接收セルハ對日經濟絕交ハ商人ヲ主体トスル民衆運動タルヘシトノ吾人ノ主張ニ合致スルモノナルカ經濟絕交成功ノ關鍵ハ調查ト宣傳ニ在リ即先ツ(一)日本ノ在華工場及其ノ製品(二)日本ヨリノ輸入品ノ種類商標(三)中國人經營事業中ニ日本ノ投資ヲ含ミ居ラサルヤ(四)日本品ニ代ハルヘキ中國又ハ外國製品等ニ付精細調査宣傳シテ一般ノ注意ヲ喚起スヘク商人ノ注文又ハ存置セル日本貨ヲ調査シ又ハ懲罰スル如キハ紛擾ヲ起シ弊害ヲ生スルノミナリ又更ニ積極的方法トシテハ(一)紡織業ヲ促進シテ日本人ノ手ニ掌握セラレ居ル中國國民ノ衣ノ問題ヲ

在中華民國日本公使館

1858

0006

S 1.1.1.0-7

解決スルコト(四)輸出入業ノ自營ヲ計ルコト(ハ)日貨ノ個人家庭ニ流入スルヲ防ク爲消費組合ヲ提倡スルコト等極メテ必要トス云々

(二) 平市日貨ノ處置ヲ開始ス(華北日報)

日貨處置辦法中ニハ既ニ購入セル日貨ニ付テハ先ツ登記ヲ行ヒ且暫時販賣ヲ停止スヘシトノ規定アル處斯クテハ日貨所持者主トシテ中下級商人ハ二重ノ負擔ヲ課セララルコトトナルヘキニ付注意ヲ要ス即既ニ輸入濟ノ日貨ノ販賣ヲ禁止スルモ日本人側ハ何等ノ影響モナカルヘキヲ以テ經濟絕交ハ重點ヲ將來ニ置キ今後輸入セララル日貨ニ對シテハ嚴重ナル検査ヲ行フコトトシ以テ排日貨ノ徹底ヲ期スヘキナリ云々

右報告ス

本信寫送附先

公使

奉天

天津

南京

在中華民國日本公使館

0007

1859

S 1.1.1.0-7

REEL No. A-0060



第一遣外艦隊機密第一三號ノ五五

昭和六年八月十七日

上海安宅

第一遣外艦隊首席參謀

上海總領事殿

臨時警戒隊報告ノ件送付

一、臨時警戒隊報告寫一通

但シ安宅艦長提出ノ分

(別紙添)

(終)

S 1.1.1.0-7 1861

0009

通方局

機密第一〇一五號

昭和六年八月十八日

在上海

總領事 村井 倉

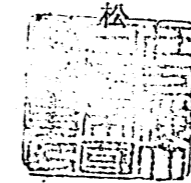
外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

海軍側ノ反日會檢査隊員逮捕事件ニ關スル件

八月十二日夜當地黃浦江上ニ於テ發生セル我カ海軍ノ反日會檢査隊員逮捕事件ニ關スル海軍側報告書寫別紙ノ通御參考迄茲ニ送付ス

本信寫送付先 在華公使 北平 南京 漢口 奉天 廣東

青島



別紙添付

S 1.1.1.0-7 1860

0008



安宅機密第三四號ノ一〇

昭和六年八月十八三日

上海

安宅艦長

第一遣外艦隊司令官殿

臨時警戒隊報告ノ件提出

一、臨時警戒隊報告

四通

機密第一遣外艦隊司令第一八號ニ依ル

(別紙添)

(終)

BII

0010

1862

S 1.1.1.0-7

臨時警戒隊報告

一、概要

(イ)日時 八月十三日午前零時半

(ロ)場所 浦東側中東碼頭

(ハ)臨時警戒隊員數 士官 一 下士官兵 一五

(ニ)反日會員々數 三三十名

(ホ)被沒收貨物 東洋棉花會社綿布一七一捆

(太古汽船臨安積込牛莊向)

國際運輸會社「ライター」一隻

(ヘ)結果 右貨物並「ライター」全部奪回及反日會員四名日

本總領事館警察へ同行引渡

BII

0011

1863

S 1.1.1.0-7

三、經過

八月十三日午前零時十分國際運輸社員小蒸汽ニテ來艦日貨検査員
ニ三十名浦東側太古汽船ニ荷揚中ノ東洋棉花綿布ヲ沒收シツツア
リ救援ヲ乞フ旨ノ申出アリ直ニ臨時警戒隊（一―一五）ヲ編制シ
該小蒸汽ニテ午前零時半^監發現場ニ派遣ス

之ヨリ先反日援僑會員ニ三十名ハ浦東側中東碼頭ニ横付中ノ太古
汽船臨安ニ荷役スヘキ東洋棉花會社綿布ヲ其ノ「ライター」（國
際運輸會社所有）ト共ニ沒收シ荷役監督中ノ同社邦人社員一名ヲ
強制的ニ「ライター」ニ監禁シ反日會所所有曳船ヲ以テ將ニ曳航シ
去ラントセシ際警戒隊乗船ノ小蒸汽ノ來レルニ驚キ曳船ハ曳索ヲ
放テ逸早く下流ニ向ケ遁走セリ依テ警戒隊員ハ該「ライター」ニ

B11 0012

S 1.1.1.0-7

1864

3

三、所見

乘リ移リ監禁セラレ居タル邦人ヲ救出スルト共ニ「ライター」ニ
殘留シ居タル反日會員四名ヲ連行シ一先ツ小蒸汽ヲ以テ「ライタ
ー」ヲ曳航シツツ本艦ニ歸投セリ時ニ午前一時ナリ右反日會員四
名ハ我武裝兵四名護衛シ本艦内火艇ニテ直ニ我帝國總領事館警察
ニ送致シ之カ引渡ヲ了ス
因ニ我領事館警察ヨリノ報ニ依レハ該逮捕者ハ翌十四日午前中
ニ支那公安局ニ引渡スト共ニ總領事ヨリ嚴重ナル抗議ヲ提出セ
ル由
尙該「ライター」ハ綿布一七一捆積載ノ儘四馬路碼頭ニ無事引揚
クムヲ得損害ハ貨物採取リニ依ル小量ノモノニ過キス

B11

0013

S 1.1.1.0-7

1865

(イ) 現實ノ不法行爲（強盜ノ現行犯）ヲ我警備ノ任ニアル兵力ヲ以テ警戒取締ヲナスハ當然ノ處置ニシテ依テ以テ遽ニ之レカ徹底的根絶ハ期シ難シトスルモ我威力ヲ示シ將來ニ對シ相當ノ脅威ヲ與ヘ得タルモノト認ム

(ロ) 反日會員ノ連行ハ支那側逆宣傳ノ資料トナル事アルヘキモ我亦以テ抗議ノ絶好證據トナスヲ得ヘク支那側警察力無能ノ現狀ニ於テ邦人ニ對スル暴行邦貨ノ不法掠奪ノ如キ強盜的行爲ニ對シテハ斷乎タル決意ヲ明示スルヲ要ス

(ハ) 警戒隊派遣ハ其ノ時期ヲ失スレハ寸效ナシ邦貨取扱邦人關係各方面トノ密接ナル通信連絡ヲ保チ萬全ノ準備ヲ整ヘ置クヲ必要トス殊ニ今回ノ如キ夜間ニ於ケル邦貨積込ハ可成之ヲ避ケシム

BII

ルカ又ハ豫メ通知セシムルヲ要ス

(ニ) 今後荷役監督邦人監禁セラルル場合再起スヘシ注意ヲ要スルモノト認ム

(終)

BII

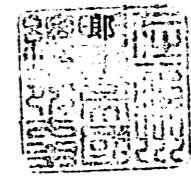
主一〇二

機密第二三四號

昭和六年八月十八日

在福州

總領事 田村 貞治



外務大臣 男爵幣原 喜重郎 殿

縣黨部主催追悼旅韓死難僑胞大會狀況報告ノ件

福建省閩侯縣黨部主催ニ拘ル朝鮮在住中國人遭難者追悼大會ハ本月十五日福州市西湖公園ニ於テ舉行セルカ其狀況何等御參考迄左記報告申進ス

記

一名 稱 追悼旅韓死難僑胞大會

在福州日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1868

0016

一、場 所 福州市西湖公園内紫薇廳

二、日 時 昭和六年八月十五日午前九時開會同十一時閉會

三、集合人員 省政府以下各機關團體代表約五百名

四、參加知名ノ士 教育廳長程時燦、省政府秘書長陳壽凡、高等法院長王鳳雄、其他省黨部縣黨部各委員

五、開會順序 式場ハ正面孫文肖像ノ下方ニ「旅韓死難僑胞之靈位」

ト書シタル幅六寸長サ三尺位ノ木牌ヲ安置シ紀念儀式

ニ依リ縣黨部指導委員林炳康司會ノ下ニ開會シ林炳康

ノ祭文朗誦省黨部宣傳部長甘雲ノ演說等アリ主催者ヨ

リ決議案ヲ提出シ滿場一致議決シ口號ヲ高唱散會セリ

六、祭 文 維中華民國二十年八月十五日福建省各界謹以香花非酒

在福州日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1869

0017

REEL No. A-0060

アジア歴史資料センター

致祭於萬鮮慘案死難同胞之靈前
其文曰、萬鮮慘案誰召之殃、正兇日本中外沸揚劫我廬
舍、揭我商場、截我船隻、絕我口糧、放火、焚燬、何
異豺狼沈屍滅迹欲蓋惟彰、求生莫得、束手待亡、無一
倖免亘古鉅創噩耗傳布人心激昂、屍骸枕藉、目慘心傷
、慰我死者、^後兇賠償、尙助後死、其各自強、嗚呼哀
哉、尙響

一、甘雲演說ノ要旨

萬寶山事件ニ關シテハ既ニ各新聞紙上ニ詳細報導セラ
レ各位周知ノ通ニテ茲ニ再ヒ述フル要ナク唯獨リ日本
ノ機關新聞タル閩報ノミ逆宣傳ヲナシツ、アリ日本ハ

在福州日本總領事館

S 1.1.1.0-7

1870

0018

平素日支親善ヲ高唱スト雖唯口頭ノミニテ内實ハ絶ヘ
ス中國ノ領土ヲ侵略センコトノミ計劃シ居レリ萬寶山
ハ即チ中國ノ領土ニテ我領土ニ於テ横行シ我カ同胞ヲ
慘殺シタルコトハ我國ノ國辱ニシテ而モ空前未曾有ノ
大國恥ト謂フヘシ日本ノ野心ハ南中國ニ對シテハ英米
各國ノ妨害ヲ受クル爲メ手ヲ出シ得サルモ北中國ニハ
此等妨害者ナキヲ以テ意ノ如ク侵略スルヲ得ヘク朝鮮
附近ヨリ漸次中國ノ領土侵略シツツアル所以ナリ之レ
カ防止方法トシテハ目下ノ處對日經濟絶交ヲ永久持續
スルノ外ナシ云々

一、議決案

在福州日本總領事館

S 1.1.1.0-7

1871

0019

- 一、口
號
- (一) 呈請國府依據本黨對外政綱辦理中日交涉
 - (二) 呈請國府交涉撤消日本駐留我國各地軍警制止日本向我東北移民與租地雜居
 - (三) 通電全國一致組織反日團體勵行對日經濟絕交
 - (四) 通電全國誓死爲革命外交後盾不達到懲兇賠償道歉保障目的不止
 - (五) 函請省政府拒絕日領非法干涉本省各地愛國運動的要求
 - (六) 函請省政府招待在閩外人報告萬鮮慘案經過情形並印發日英兩種文字宣言

在福州日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1872 0020

- (一) 反抗日本對華侵略行爲
- (二) 日本帝國主義是屠殺僑胞的劊子手
- (三) 誓死爲死難僑胞復仇
- (四) 驅逐日人在華軍警出境
- (五) 永遠對日經濟絕交
- (六) 廢除中日間不平等條約
- (七) 援助台灣朝鮮革命
- (八) 東方弱小民族聯合起來
- (九) 打倒殘酷的日帝國主義
- (十) 中華民族解放萬歲
- (十一) 完成國民革命

在福州日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1873 0021

寫送先

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

11.10.20-2

昭和6 一一一三〇 暗 上海 十九日後發 亞、通
 幣原外務大臣 八月十九日後着
 第四二〇號 村井總領事

當地邦商加工綿糸工場上海紗帶廠(租界外)カ上海紡績ヨリ購入セ
 綿糸二俵ヲ一輪車ニ臺ニ積ミ其工場ニ引取ル爲運搬中北四川路方
 面ノ租界外ニ至レル節十八日午後四時二十分頃數名ノ反日會検査員
 ノ爲ニ取押ヘラレタルカ荷主ハ直ニ附近ナル我陸戰隊ニ届出テ陸戰
 隊ヨリ武装セル水兵ト然ラサルモノト各十名宛「トラツク」ニテ出
 動シ武装セサル水兵カ荷物ヲ追跡シタルニ反日會員ハ水兵ノ姿ヲ見
 ルヤ直ニ荷物ヲ放棄シテ逃走シ荷物ヲ無事取戻スコトヲ得タリ本件

外務省

S 1.1.1.0-7 1875

0022

告中國國民黨萬歲

尙當日市中ニ撒布セル傳單左ノ如シ

- 一、爲追悼旅韓死難僑胞告同胞書
- 一、福建省會各界反日會告民衆書
- 一、閩鋒周刊(萬寶山事件專號)

以 上

本信寫送附先

在華公使、在北平參事官、上海、廣東各總領事

南京、廈門、汕頭各領事

台灣總督

在福州日本總領事館

S 1.1.1.0-7 1874

0022

陸戦隊出動モ當館ニテハ隊側ヨリ單ニ報告ヲ受ケタルノミナリ
 尙反日會本部ニテハ十二日夜ノ事件カ圓滿ニ解決セサル以前ニ於テ
 ハ之迄抑留セル日貨ハ某邦商所有ノモノタルコト明カナルモノト雖
 返還セスト揚言シツツアル趣ナリ
 北平、奉天、天津、青島、濟南、南京、漢口、廣東へ轉電シ支へ轉
 報セリ

外務省

S 1.1.1.0-7 1876 0024

第九七號

昭和六年八月十九日

在汕頭

領事館事務代理戸根水長三助

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

在上海海軍陸戦隊ノ日貨奪還ニ對スル
 譯報ノ件

上海及日會會員ノ日貨扣留ニ對シ我海軍陸戦
 隊ニ於テ出動之ヲ奪還セル事件ニ付テハ既ニ當
 地各漢字紙ニ上海電トシテ報道セラレ居ル如ク
 九日汕報ハ七日兵奪還貨感言ト題スル社説

在汕頭日本領事館

S 1.1.1.0-7 1877 0025

REEL No. A-0060

アジア歴史資料センター

ヲ掲載、今般萬鮮事件ニ基ク日本帝國主義者ノ強横ト南京政府ノ軟弱外交トヲ憤リ國人及日大合ヲ組織シ日本ト經濟絶交ヲナセルモ斯ル消極抵制ノ行為ハ弱國ノ強權ニ對スル已ムラ得ヤル法ニテ相手方如何ニ強横與理ト虽モ干涉ノ可能ナキ如日兵ハ武力ヲ以テ彼知日貨ヲ強奪セリ吾人五分間ノ熱力漸次低落セントスルニ際シ斯種強力奪貨ハ正ニ興奮劑ノ用ヲナスベク上海及日合ノ空氣ハ共ニ一番ノ刺激ニ依リ愈々緊張ヲ示レタルガ若者民衆ガ興奮劑ヲ服シタル後、其効力如何ニ拭目ニテ待ツベト論ニ居リ當地ノ状況ハ既ニ屢次報告ノ通リ極メテ平靜ナリモ商人側ハ他地ノ振合ニ顧ミ及日排日貨ノ實行

在汕頭日本領事館

S 1.1.1.0-7 1878 0026

ヲ予期シタル上棉布雜貨等多量ノ見越輸入ヲ終(目下手持多過)苦シミ居ル状態ニシテ本年六月五日附公力ニ。五号。左。右。月。十日。附機密力ニ。七号。拙信ヲ以テ具報、布行ニ於テ國貨維持ヲ名目トシ其實詳布正頭專稅局ノ抵制ヲ目的トシテ行ヒ来ル詳布ノ輸入ヲ控テ其後組合員ノ申合セ全ク乱レ七月末迄ニハ三万疋ニ輸入アリタル程ナルガ斯ク商人側ニ於テハ大勢及日ノ實施アルモノト見越頗ル大ナルモノ、如キモ別般上海ニ於テ陸戰隊出動ニ對テ特別ノ拳銃ニ出ワキコトヲ考究ス等ノコトモ行公力ニ云東側、或リ行ヲ見ワリ、党部高会方面亦本問題ヲ沈黙シテ了ルヲ以テ前記証報論說ノ如キ特別他

在汕頭日本領事館

S 1.1.1.0-7 1879 0027

(タイプ紙2号) 南滿洲鐵道株式會社



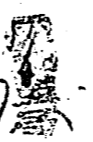
通

株式會社



外務省

第



文庫 吉公 上海

北公報第二七一號

昭和六年八月十九日

北京公所 收

北平ニ於ケル日貨排斥ノ件(D報)

北平市編部ヲ主体トセル北平市各界救護反日經濟絶交委員會ハ
總商會側力救護反日會ノ操縦ニ抵抗スヘク暗々幽ニ「北平市商
人對日經濟絶交委員會」ヲ組織センカタニ市收富局ニ瞭解ヲ求
メテ成立準備ヲナシツツアルコトヲ聞知シ若シ總商會ノ計畫力
實現セハ該會自体ニハ頗ル不利トナルノコレカ成立ヲ阻止ス

(6. 4. 飭州商)

S 1.1.1.0-7 1881

0029

在汕頭日本領事館

刺戟ヲ與フルニ至ラサルベシ
右何等御考ヲ考査ニ報告ス

本信ヲ送附先
在支公使 上海 北京 廣東

S 1.1.1.0-7 1880

0028



(タイプ紙2號) 南滿洲鐵道株式會社

此の目的トナスモノニシテハ貸付方法ハ該會自ラ章則ヲ訂定
 シ大旨ノ議決通過ヲ經タル上各商店ハ共同遵守シ其ノ内諸ハ
 協、救済、執行ノ三種ニ分ケ其ノ方法ハ此後所有日貸ハ各商店
 ヨリ該會ニ申請シ該會ハ検査ノ上通牒證ヲ發行シ同證ニ依
 據シ豫收スルヲ規定在座ノ日貸ヲ賣リ切リタル後ハ更ニ注文、
 販賣セサルコト、若シ規定ニ違反シタルコトヲ発見シタル場合
 ハ相當ノ罰金ヲ科シテ救済基金トスルモノニシテ是日貸販賣
 ノ各商店ハ該會内ニ於テ組織方法ニ關スル討論會ヲ開キ且商
 賣總長趙公趙ハ各商店代表ト合同ニテ組織簡章及ヒ經濟總契
 辦法ヲ適シツツアリ。

S 1.1.1.0-7 1883 (6. 4. 5. 川路) 0031



(タイプ紙2號) 南滿洲鐵道株式會社

ヘク謀リ積極的ニ及日工作ヲ進行セシメテ尤願ノ功ヲ奏セント
 十一日口貨検査ニ關スル決議ヲナシ(公所註)決議案ハ北公貨
 庫二六九號ヲ以テ報告セシ通リナルカ支那各紙ニハ即日口貨檢
 査ヲ開始スル豫報ヲ居タルモノヲ如ク検査所ハ既報ノ十五ヶ所ニ置
 トニ決議シ居リタルモノノ如ク検査所ハ既報ノ十五ヶ所ニ置
 加ヘ十六ヶ所) 及日貸ハ該會ヨリ各商店ニ向ケ十七日前ニ
 及日貸又ハ該會ヨリ登記スル日貸通知セラレ度キ旨該會
 ニ通知セルモノ尙何等ノ表示モナク各商店ヘモ日貸登記ニ關ス
 ル通告ヲ出シ居ラサル有様ニテ該會力發起シテ組織セントシ
 ツツアル「北平市商人對日經濟總契委員會」ハ北平市内ノ日貸
 販賣各商店ヲ組織ノ主体トシ其ノ主旨ハ商人力自發的ニ對日經
 濟總契ヲナシテ日人ノ覺醒ヲ促シ外交ノ進行ヲ援助スルコトヲ

S 1.1.1.0-7 1882 (6. 4. 5. 川路) 0030

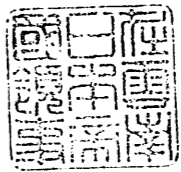
照會亞屬

機密公第一一四號

昭和六年八月十九日

在雲南

領事館事務代理 橋丸大吉



外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

雲南ニ於ケル黨部ノ排日宣傳狀況報告方ノ件

雲南省黨部及不平等條約廢除促進會ニ於テハ曩ニ萬鮮事件ニ關シ夫々各地ニ向ツテ排日通電ヲ發シタルカ去ル十六日該省黨部ニ於テハ當地ニ於ケル各級黨員及各機關、團體並ニ學校ノ代表等ヲ招集シテ反日大會ヲ開催シ席上種々討論ノ決果遂ニ二十箇ノ團體ヨリ各代表一名宛ヲ舉ケテ執行委員會ヲ組織スルコトヲ議結セリ

在雲南日本領事館

翌十七日同省黨部ハ更ニ昆明市黨部ニ各界人士ヲ集メテ反日援僑擴大宣傳大會ヲ舉行シタルカ參會セルモノ大約一千人ト算セラレ建設廳長兼黨務指導委員張邦翰、同指導委員劉家樹及市黨部監察委員楊漢榮等ノ演說ニ繼キテ死難華僑ノ同胞ニ對シ三分間ノ默禱ヲ行ヒタル後市黨部側ヨリ左ノ立案ノ提議アリタルニ對シ滿場一致ヲ以テ可決セラレタル趣ナリ

- 一、今後本市ニ於ケル各界ノ同胞ハ實際ニ反日護僑救國運動ニ參加シ徹底的ニ經濟絶交ヲ行ヒ、一切日貨ヲ購入販賣セサルコト
- 二、總理ノ遺像ノ前ニ於テ日貨不買ヲ宣誓スルコト
- 三、外交部ニ對シ嚴重交渉方電請スルト共ニ當省全体ノ民衆ヘ誓ツテ外交ノ後盾トナル旨電報スルコト

在雲南日本領事館

S 1.1.1.0-7 1885

0033

S 1.1.1.0-7 1884

0032

四、全國ニ向ツテ中央擁護、平和統一、及對外一致以テ外交ノ後盾トナル旨ヲ通電スルコト

五、中央ニ對シ陳濟棠ノ討伐ヲ電請スルコト

右大會終了後市黨部工作員及各區黨部委員及夏期黨義講習學生等ヲ九班ニ分チ市街隨所販ニ於テ日貨排斥乃至對日經濟絕交ノ實行等ニ關スル遊說ヲ行ハシムルト同時ニ街上要所ニ常套ノ各種排日「スローカン」ヲ貼付スル一方「萬鮮事件宣傳大綱」ナル傳單類ヲ撒布スルト共ニ夜間劇場、茶樓等民衆ノ集合場所ニ於テモ同様排日の演說ヲ行ハシメタリ

同日ハ不平等條約廢除促進會ニ於テモ亦「萬鮮慘案」付民衆ニ告クル「書」ナル宣傳ビラヲ用ヒテ黨部ト共ニ排日の氣勢ヲ擧クルニ努メタ

在雲南日本領事館

S 1.1.1.0-7

1886

0034

ルカ幸ニモ市中何等不穩無クシテ過キタリ

右黨部及廢約會ノ排日宣傳ニ對シ當省政府官憲筋ニ於テハ當方ヨリ豫メ排日取締方要求シ置タルニモ拘ラス之カ取締ヲ爲サマリシモノ、如ク甚シキハ上述ノ通該省黨部ノ反日大會ニハ各機關ノ代表數名ヲ參加セシメタル事實アリテ恰モ之ヲ默認シ居レルカ如キ態度ヲトリ居レルヤニ看取セラル、モ亦一方該宣傳大會當日午後當館保護ノ爲憲兵一分隊二十五名ヲ派遣越アリタルハ當省政府ニ於テ萬一ヲ警戒シタルモノト信セラル

右宣傳ニ活動スル人物ハ既述ノ如ク張邦翰、劉家樹、楊漢榮ノ外省黨務指導委員、陳廷璧等ヲ中心トシ右省黨部及同市數黨部並ニ廢約會ノ三者互ニ連絡ヲトリ年少ノ黨員乃至學生ヲ利用煽動シ居レルモ

在雲南日本領事館

S 1.1.1.0-7

1887

0035

ノナリ、又主席龍雲及省務委員盧漢ハ何レモ黨務指導委員ヲ兼任シ居レルモ表面上何等活動シ居ラサル模様ナルト共ニ其他黨務指動委員タル陳玉科及斐存藩ノ二名ハ目下代表トシテ上京中ユテ直接右運動ニ活動シ居レル模様ナシ

尙該反日宣傳大會當日ハ邦人側ニ於テモ遺算ナキヲ期センカ爲邦商ニ對シテハ同日休業スル様指導セルト共ニ一般外出ニハ充分警戒スル様注意ヲ與ヘ置タルカ幸ニシテ何等異常乃至實害ナカリシ次第ナリ

右宣傳大會後ノ昨今各新聞紙ニ於テモ既ニ萬鮮事件ノ記事ニハ飽キタルモノ、如ク排日的論調頓ニ減少シタルト同時ニ本十九日市街ヲ視察シタルニ排日標語等ハ過半除去セラレ居レル等ノ事實アルニ

在雲南日本領事館

S 1.1.1.0-7

1888

0036

徴シ當地ニ於ケル排日ハ右宣傳大會ヲ頂上トシテ今後徐々ニ終息ニ向フニ非スヤト觀測セラル、處他面省黨部ニ於テハ近ク秘密糾察隊ヲ組織シ日貨抵制ノ實際行動ニ出スルヤニ傳フル向アリテ今暫ク黨部ノ行動ヲ注視スルノ要アリ右報告申進ス

本信寫送付先

在支公使、 在北平參事官、 在南京領事、

在雲南日本領事館

S 1.1.1.0-7

1889

0037

(2)

駐華亞局

機密公第一六一號

昭和六年八月十九日

在 博山

出張所主任 町田萬二郎

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

排日運動ニ關シ報告ノ件

最近當地方ニ於テモ黨部員ニヨル排日運動指導開始セラレ縣黨部
發行ノ博山週報ナル週刊新聞紙上ニ朝鮮華僑被害事件ニ關スル支
那側消息ヲ掲載シ或ハ博山、淄川兩地市街各所ニ
日本人ハ朝鮮人ヲ使喚シ華人ヲ慘殺セシム

在濟南日本總領事館博山出張所

S 1.1.1.0-7 1890

0038

別紙添附

排日運動ニ關シ報告ノ件

分類 A.1.1.0, 20-21

本信寫送附先

在華公使、濟南總領事、

在濟南日本總領事館博山出張所

S 1.1.1.0-7 1891

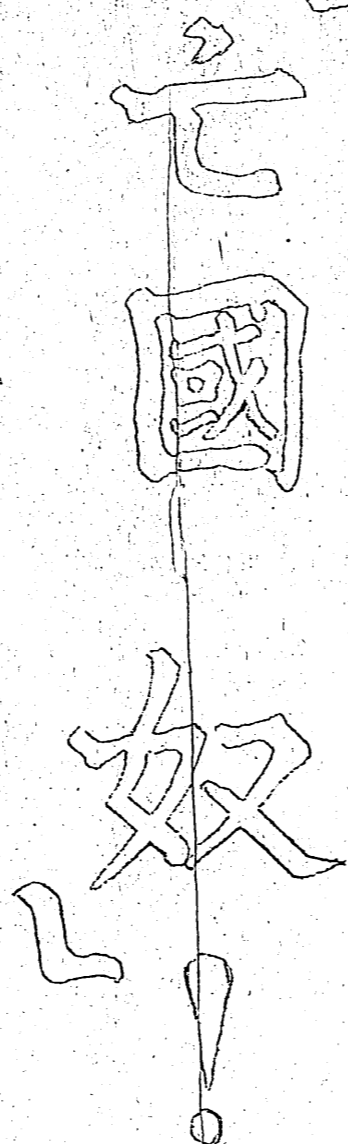
REEL No. A-0060

アジア歴史資料センター

救國連索

- 1. 不買日本貨!
- 2. 不賣東西給日本人!!
- 3. 不替日本人作事!!!

同胞們！接到此信，務請立下決心！切實履行！！堅持到底！！並在二十四小時內，至少照抄九份，寄與你的不願做亡國奴的親友，若不抄寫寄出和履行，就是甘心做



京市黨部為共計蔭城郭蔭城吳吳劉階平劉階平吳吳
 陳柏寒陳柏寒吳吳張給宣張給宣吳吳翁海澤翁翁
 海澤吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳
 丁占五丁占五吳吳趙仲康趙仲康吳吳王王王王王王
 吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳
 吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳吳

S 1.1.1.0 1892

0039

野村正局
機密第三八八號

昭和六年八月十九日

在 鐵 嶺

領事代理 石塚 邦 器



外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

遼寧民政廳ノ朝鮮事件繪畫頒布ニ關スル件

開原縣公安局職員ノ洩ス所ニ依レハ遼寧民政廳ヨリ朝鮮各地ニ於ケル在留華人同胞ハ鮮人ノ爲メ言語ニ絶ヘサル慘虐ニ遭ヒ千載忘ルヘカラサル恨事ヲ遺セル次第ニシテ然モ事件ノ裏ニハ各地ノ日本人ノ使喚アルヲ以テ本廳ハ此ノ慘事ヲ民衆殊ニ年少學生ニ知ラ

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0-7 1893

0040

手
紙

5
1

シメ輿論ヲ喚起シ敵愾心ヲ涵養スヘク慘案模様ノ繪畫ヲ作製シ送付スルヲ以テ各縣長及公安局長ハ街道適宜ノ場所ニ貼リ民衆ノ觀覽ニ供シ尙各學校ハ繪畫ニ依リ生徒ニ對シ講演シ認識ヲ深刻ナラシムヘント通令ニ接シタリト

追テ開原縣ニ於テハ目下ノ處右ノ繪畫ヲ貼出シ居ラス
右何等御參考迄報告ス

本信寫送附先 奉天總領事

在鐵嶺日本領事館

S 1.1.1.0-7

1894

0041

REEL No. A-0060

アジア歴史資料センター